

電話機・ファックス

目次

I. 商品知識

1. 電話機・ファックスとは		2	ページ
2. 電話機・ファックスの種類・分類		2	ページ
2-1 電話機の種類・分類		2	ページ
2-2 ファックスの種類・分類		3	ページ
2-3 ビジネス向け電話機・ファックス		4	ページ
3. 電話機・ファックスの機能・性能		5	ページ

II. 買い取り

1. 接続		6	ページ
2. 通話確認		6-7	ページ
3. 送受信・印刷確認(ファックス)		7	ページ

III. 生産

1. 個人情報消去		8	ページ
2. クリーニング		8	ページ
3. プライスカード作成・商品陳列		8	ページ

IV. 用語集		9	ページ
---------	-------	---	-----

V. FAQ		10	ページ
--------	-------	----	-----

I. 商品知識

1. 電話機・ファックスとは

電話機とは話す音波を、電流または電波に変えて離れた所に送り伝え、また送られて来た電波または電流を再び音波に還元する通信装置です。電話機の発明者については様々な議論がありますが、1876年に初めて電気式電話機の特許を取得したのが有名なアレクサンダー・グラハム・ベルです。

またファクシミリ（この項では「FAX」、「ファックス」と記す）とは画像情報を通信回線を通して遠隔地に伝送する機器の事で、基本技術は1848年に既に発明されておりました。その後、報道や軍事利用などにより様々な方式変更や改良、通信回線の発達を経て1990年代に家庭用のファックスが普及するまでに至りました。

2. 電話機・ファックスの種類・分類

2-1. 電話機の種類・分類

【標準電話機】



標準電話機とは基本的な機能のみを装備したもので、メーカーによってはベーシックテレホンと言われます。送受話器と数字ボタンのみが装備された物は更にシンプルホン等の呼び方をする場合もあります。標準電話機にはコンパクトなタイプの物もあり、送受話器と本体が一体となっていることもあります。

※標準電話機にはコンセントからの電源が必要としない物と、必要な物があります。黒電話はダイヤル回線でのみ動作可能です。

【コードレス電話機】



コードレス電話機とは、固定電話回線などに接続された親機と子機との間を無線通信で結ぶ電話機です。コードレス電話の無線部分の通信には、アナログ方式とデジタル方式の2種類があります。コードレス電話の親機と子機にそれぞれ異なるIDが割り当てられており、親機に子機を登録することで使用可能となります。現在販売されている機種では一部を除き、ユーザーが子機を設定することで簡単に増設できるようになっています。

アナログコードレス電話

FM放送と同じ周波数変調である為、市販の無線受信機で簡単に盗聴される危険性があります。秘話通話機能がある電話機もありますが、秘話機能自体がアナログ方式のため盗聴を完全に防ぐ事はできません。

デジタルコードレス電話

2.4GHz帯を使用するものが主流でしたが、近年は無線LANや電子レンジとの干渉がなく、消費電力も少ない1.9GHz帯の「DECT方式」に移行しております。デジタル方式の特性としては電波の直進性が安定しているため、動き回っても安定した通話が可能です。アナログ方式と違いデジタル暗号化技術と組み合わせて通信を行うため、高い秘話性を保つことができます。



2-2.ファックスの種類・分類

【普通紙ファックス】



普通紙の上にフィルム状の熱転写リボンを重ねて発熱体（サーマルヘッド）に接触させると、熱が加わった箇所にリボンの色（FAXの場合は黒）が転写されます。以前、主流であった感熱紙タイプに取って変わり、現在主流の方式です。

【感熱紙ファックス】



感熱記録紙は熱により黒色を発色する用紙のことでロールタイプの用紙を使用するものが多い。FAXの場合は8個/mmの間隔で横一線に並べた発熱体（サーマルヘッド）を記録紙に密着させて画像を得ます。構造が簡単でインク交換の必要が無くコストが安いことから多くの普及型FAXで採用されておりましたが、記録紙が熱により退色し長期保存に向かないことから、現在ではほとんど見られなくなりました。

【ファックス機能付きインクジェットプリンタ複合機】



インクジェット複合機にファックス機能がついたもの。カラーで送受信できるものが数多く登場しています。カラーFAXを行う場合は、送信側・受信側の双方がカラーFAX機能を搭載している必要があります。一方がモノクロFAX機であれば、カラーFAXとして送信しても、自動的にモノクロに変換されます。複数送信（コピー）に対応した自動紙送り装置「ADF（オートドキュメントフィーダー）」を搭載しているモデルが多く、通常の複合プリンタとの見分けるポイントにもなります。

2-3.ビジネス向け電話機・ファックス

・ビジネスホンについて

電話機1台で設備が完結しない為、ハードオフでの扱い自体が難しい商品です。コピー機に家庭用と保守サービスが必要な業務用複合機があるように、電話機にも店頭で取り扱えないものがありますので、注意して下さい。

【多機能・ビジネスホン】



ビジネスホンとは、企業オフィスでの利用を考えて作られた電話システムの総称です。複数の回線を収容できる主装置(ME)と、主装置に接続された多機能電話機で構成されています。一般の家庭用電話機のように電話機の台数分だけ電話回線が必要になることもなく、回線を効率よく利用できるようになります。※MEとは事務所用電話交換機(外線・内線をそれぞれ制御します)

＜ビジネスホン用端末の主な特徴＞

- ・耐久性がありなかなか壊れません。
 - ・回線の共有ができビジネスホンは必要な分だけ電話回線と電話機の台数が選べます。
 - ・ダイヤルイン対応として、会社の代表番号の他に、部署ごとの番号、または社員個人の番号を割り当てて運用できます
- ※主装置(ME)がないと電話機単体では動作しません。

【IP電話機・ホームスマートホン】



IP電話機とは、インターネットを利用した電話機のことです。パソコンを使用するIP電話の規格としてはH.323がよく知られており、これに対応したIP電話機が多いようです。見た目は一般のビジネスホンと酷似しており、受話器の形状、ボタンの並び、その他機能も従来のビジネスホンと同じように備えていることが多いです。電話線は使用せず、LANケーブルを直接繋いで利用します。0120や0570、104、110、119、117といった電話サービスには発信ができません。・近年インターネット回線によるテレビ電話などが可能な、ホームスマートホンが発売されています。WiFiにて動作可能な仕様です。

【ビジネス向けファクシミリ付き複合機】



大型のデジタル複写機に、ファクシミリやLANの機能を拡張ボードの形で追加したものは、事務所向けとして導入されることが多いです。比較的高価(数十万円以上)であるため、OA機器販社によるリースでの導入がほとんどです。大量の印刷に耐えられるように設計されていますが、基幹業務に使用する場合には保守契約を行い、定期的な保守点検が必要です。

※保守契約が必要なことや、リース品の場合が多く店舗での扱いは困難です

3.電話機・ファックスの機能

・ナンバーディスプレイ機能

NTTへのサービス申込により、相手方の電話番号が表示されます。
(月額利用料400円※工事費別)
電話帳と連動することで氏名を表示することもできます。



ナンバーディスプレイ

・キャッチホンディスプレイ機能

ナンバーディスプレイのオプションサービス。
(月額利用料100円※工事費別)
通話中に着信があった場合、相手方の電話番号が表示されます。
電話帳と連動することで、氏名が表示され現在通話中の相手から着信の相手に切り替えることができます。



キャッチホンディスプレイ

・指定番号着信拒否機能について

NTTへのナンバーディスプレイサービスを申し込むことにより、指定した番号からの着信を繋がないようにすることが可能です。

・迷惑電話フィルタサービス

警察・自治体から提供される迷惑電話番号情報、および全国サービス利用者からの拒否登録情報をもとにした迷惑電話データベースと照合し、振り込め詐欺や悪質な勧誘電話を自動で判別して着信拒否します。

・各種 詐欺対策強化機能

非通知お断り機能、自動聞いてから応答、自動あんしん応答、あんしんLEDなど、振り込め詐欺対策機能が搭載された機種が各メーカーより発売されています。

・留守番電話機能

不在時に着信した電話の相手方の用件を録音することのできる機能。外出先からの留守番要件の確認・操作が可能が機種もあります。記録メディアは当初はマイクロカセットテープが主流でしたが、その後ICメモリへ移行。近年、脅迫電話や悪戯電話等の迷惑電話に対処する上での証拠提出に利用できるようにSDカードなどの外部メモリに録音できる電話機も登場した。

・子機間通話機能

双方向子機間通話といい、アナログコードレス電話機の多くは子機間の通話ではトランシーバーのように一方の交互通話しかできませんでしたが、デジタルコードレス電話機では、通常の電話機と同様に双方向通話が可能です(アナログ方式による双方向タイプは元々の価格が高額です)。

・3者通話機能

子機2台と外線相手の合計3人で通話ができます。

・電話帳転送機能

子機の電話帳を別の子機に転送することができます。

・ハンズフリースピーカーホン機能

受話器や子機をその場に置いたまま通話ができます。

・ポーリング受信

受信側から電話をかけて、送信側にセットされた原稿を受信する機能のことです。例えば、FAX情報サービスを取り出す時や、各支店の売上表などを集計するときは、送信側で 前もってFAXをセットしておき、本社から「ポーリング受信」にて支店の売上表を受信するなどが可能です。

Ⅱ. 買い取り

1. 接続



子機を充電しておきます。

・バッテリーは使用していなくてもすぐには放電しないため、しばらくおいて電源が入らない場合は バッテリー不良が考えられます。



親機に電話回線を接続してから電源コンセントを接続します。

※自動回線種別する機種があるため、電源を先に繋がないこと

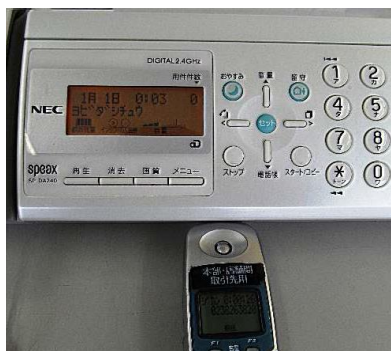


自動回線種別しない場合や機能がない場合は手動で回線を選択します。

・パルス(ダイヤル10及び20)/トーン(プッシュ)の切替えを行う。店舗の回線を把握しておくこと。

・トーン機能のチェックとして、パルス(ダイヤル)回線設定時に「*」ボタンを押す事でプッシュ音 に変更できるか確認します。

2. 通話確認



親機自体の通話確認を行います。

・店舗の電話番号へダイヤルし正常に通話できるか確認します。

・逆に店舗の電話機から着信するか確認します。呼び出し音など正常か確認します。

・受話器は上部にスピーカー、下部にマイクが内蔵されています。相手方でゴソゴソ音がする場合 はマイク不良、相手方の声が聞こえない場合などは、スピーカー不良が考えられます。



子機の通話テストを行います。

・動作チェック中に親機にて保留ボタンを押して、保留状態にします。親機の受話器を下ろします。

・子機にて通話ボタンを押し、相手方との通話ができることを確認します。

・子機が2台以上ある場合は、すべての子機にて同様に通話確認し、更に子機間通話が正常に動作するかも合わせて確認しましょう。



親機・子機すべてのボタンが動作するか確認します。

・電話機は生活汚れがひどい場合があります。ボタンの接触不良がよくあるので注意しましょう。



留守番電話などの付加機能をチェックします。

3. 送受信・印刷確認(ファックスのみ)



ファックス機能のチェックを行います。

・買取のFAXからお店のFAXにダイヤルし正常に送信できるか確認します。
・同用にお店のFAXから買取のFAXにダイヤルし正常に受信できるか確認します。

発信元: ハードオフ・オファウス エザゲン

ファクス番号: 0238263824

2013. 1. 9 16:13 P. 1

※受信の際、発信元の氏名・電話番号が表示されるか確認します(以後データ消去時考慮する)。



コピー機能のチェックを行います。

・買取のFAXに原稿をセットし、コピーボタンをおして正常にコピーされるか確認します。

Ⅲ. 生産

1. 個人情報の消去



親機・子機すべての電話番号などの個人データを消去します。
機種によってはオールデータ消去できる機種があります。できない機種の場合は、着信履歴、発信履歴、電話帳、短縮ダイヤル、留守録メッセージ、発信元情報など全てを消去して下さい。



旧式のマイクロカセットテープが入っている場合は、音声が録音されていますので、消去が難しい場合はテープ自体を処分して下さい。



普通紙ファックスの場合、熱転写方式の為インクフィルムに印刷された情報が全て転写されて残っています。処分するか、使用されている部分だけカットしフィルムを巻き直します。

2. クリーニング

※基本クリーニングに準拠

3. プライスカード作成



◎ハードオフではパソコンのジャンルとして扱われていますが、電話機やプリンターなどの商品に近い場所に陳列・展示されるとお客様が探しやすく、電話機やプリンター複合機との比較検討も可能となり、販売につながりやすくなります。

IV. 用語集

・回線種別

電話回線の種別には、「プッシュ回線」、「ダイヤル20PPS」、「ダイヤル10PPS」があります。電話機のボタンを押したときに「ピッポッパッ」と音がするのがプッシュ回線、「ジジジッ」と音がするのは「ダイヤル回線」です。現在は設定をしなくても自動で識別される電話機が多いです。黒電話などのダイヤル式電話では回したダイヤルが戻る時間の長さで番号を識別していたのに対して、プッシュ回線では音の高低で番号を識別しています。プッシュ回線のことを「トーン」、ダイヤル回線のことを「パルス」とも呼びます。

・トーン機能

ダイヤル回線契約の電話機にて、一時的にトーン信号「ピッ、ポッ、パッ」に切り換える機能。この機能にて音声ガイドダンスなどのプッシュサービスを使用することが可能になります。(*)ボタンを押す事で動作します。

・ビジートーン

電話をかけた相手が話中の時に聞こえてくる「ツーツーツー」という断続音。(5)リンガー音・・・電話が着信した時になるベルの音のこと。着信音とも言う。

・リングバックトーン

出ししている音をフィードバックしている訳ではなく、かけた電話に対して、NTTの交換器が別途送り出している音です。

・ダイヤルイン

1本の電話回線に複数の電話番号を設定し、個別に呼び出す事のできるNTTのサービスです。仮に10本の電話回線に50個の番号を載せて、PBX(構内交換機)で切り替えれば、それぞれの電話番号で個別に呼び出す事ができます。

・ISDN回線

デジタル信号回線電話の事です。TA(ターミナル・アダプタ)を利用して通信します。

・ADSL回線

一般のアナログ電話回線を使用し、上り(アップリンク)と下り(ダウンリンク)の速度が非対称な高速デジタル有線通信技術。電話機とADSLモデムに信号を分波するスプリッター必要となります。

・光回線

光ファイバー専用線を使用するため、距離や外的要因の影響を受けず、安定した速度を確保できます。光電話はフレッツ光などの接続サービスで利用できる電話サービスです。光電話モデム・ルーターが必要になります。

・黒電話機

電電公社時代から利用されてきた、回転ダイヤル式電話機の通称です。黒電話機はプッシュ回線では動作しません。アナログダイヤル回線がある店舗のみで動作確認できます。希少価値から動作品や美品は高額で取引されます。

・NTT電話機

NTTの電話機は機器料金の買い上げ扱いとレンタル扱いがあります。買い上げの場合は他メーカー製と扱いは違いありませんが、レンタルの場合は、所有権がNTTにあり、契約者が通話料と一緒にレンタル料金を払っています。また買い上げ扱いですが、機器料金を月賦で支払いしている場合もあります。NTTの電話機を買い取る場合は、お客様にしっかりと確認する必要があります。

・ホームスマートホン

通常のタブレットPCとしてWIFI環境があれば使用可能です。もちろんSkypeなどを利用してインターネット電話として利用することが可能です。用紙を利用しないFAXの送信・受信が可能となります。好きなアプリをダウンロードしたり、YouTubeやSNSで友達とコミュニケーションを楽しむことができます。

・次世代ネットワーク(NGN)のIPファックス

送信先の機器が次世代ネットワーク(NGN)に接続していれば、データコネクでIPファックスを使用することが可能となり、通信時間、通倫コストが削減されます。

V. FAQ

Q. NTTの電話機を買い取りましたが、バッテリーはどれが合うかわかりません。どこで買えますか？

A. NTT東日本・NTT西日本共にサプライ商品受付センターにて純正品を購入することができますが、大抵の機種はパナソニックやシャープなどがOEMで製造しているため、現物を持ってホームセンターに行き、見比べるとそれらのメーカーの物と互換性があるものがあります。

Q.電話線を電話機用コンセントに接続しましたが、「ツー」という音がしません。何が異常でしょうか？

A.電話機側のコネクターピンが破損しているか、使用しているモジュラーケーブルに異常があると考えられます。

Q.電話線を電話機用コンセントに接続し、「ツー」という音がしましたが、番号を押しても通話できません。何が異常でしょうか？

A.プッシュ回線に電話機がダイヤル回線に設定されているか。逆にダイヤル回線にプッシュ回線の設定になっている等が考えられます。ダイヤル回線の場合はパルス10とパルス20の切り替えがあり、旧式の電話機だと、本体裏に切り替えスイッチがある場合はもあります。切り替えて下さい。

Q.コードレス電話機にて2台中1台の子機が親機に認識されません。故障でしょうか？

A.本体説明書に子機増設設定の方法があります。表記がない場合は子機の増設マニュアルをメーカーサイトにて検索し、再設定を行って下さい。設定されない場合は子機の故障が考えられます。不良の子機を除いて販売して下さい。

Q.説明書が無くて、個人データの消去や出荷時設定ができません。どうしたら良いですか？

A.メーカーサイトから説明書をダウンロードして初期化作業を行って下さい。ダウンロードできない場合は、メーカーのサービスに電話して操作方法を聞いて実行して下さい。中古、ジャンクに関わらず個人情報データを消去せずに店頭には出さないで下さい。

Q.ACアダプターが無くて、個人データの消去や出荷時設定ができません。ジャンクで販売してもいいですか？

A.個人データが残らない機種でしたらパーツとして販売可能ですが、留守番機能やリダイヤル機能がある以上は、データの有無を確認できない場合は販売出来ません。受話器などパーツが再利用できる部分のみ資源として店頭に出して下さい。

Q.ファックスのインクフィルムがほとんど使われていません。そのまま添付して販売してもよいですか？

A.使用されている場合は必ず情報がインクフィルムに転写されています。決してそのまま販売してはいけません。しかしインクフィルムの無いファックスは非常に売りづらいものです。フィルムの使用済み部分のみ切り取り、軸につなぎなおして再利用します。